

2014年3月1日発行

発行：名古屋市鶴舞中央図書館

Tel 052-741-9811

Fax 052-733-6337

<http://www.library.city.nagoya.jp/>

～読書でふくらむ子どもの夢～

ごちゃっと



図書館ホームページで「ごちゃっと」を

見たいんですけど・・・

2014年1月に名古屋市図書館HPがリニューアルされ、「ごちゃっと」のページへの進み方が少し変わりました。

これからは、下の順番で項目をクリックしてね！！

- ① トップページ「本を探す」
→ティーンズ：こんな本あります
- ② ページ左側「ティーンズ広報紙ごちゃっと」

また、名古屋市図書館ホームページへ直接アクセスできるQRコード（スマートフォン用・携帯電話用）も紹介します！



（スマートフォン用）



（携帯電話用）



★編集後記★

★春が苦手な理由、それは次に蒸し暑い夏がくるということだから、、、考えすぎ？（秋）★一人暮らしのいいところは、こたつをしまう時期をいつまでも先延ばしできる！だとわりと本気で思っています（さと）★寒くなったので上着を引っ張り出したら、中の羽毛が漏れまくり。やはり安物はダメですね。（sh）★春と言えば桜！今年はいつ開花するのかな。満開の桜並木を静かに散歩するのが大好きです♪（千雪）★桜のまえの梅も楽しみです♪まだまだ寒い時期に咲くので、しっかり防寒しなくちゃ。（か）★夕方って腹減ってくるよね…（む）



～特集～

★いろんなことを、マンガで知ろう！

コミックエッセイのススメ

★ティーンズ担当者のオススメ 最終回

いろいろなことを、マンガで知ろう！

コミックエッセイのススメ

マンガは物語だけじゃない。今やいろいろなことをマンガの形で知ることができる。そんなコミックエッセイで、いろんな世界をのぞいてみよう！

「ご勝手名人録 寄席を仰天させた 12 人の破天荒者たち」 雷門獅篁／著 ぶんか社

タイトルから放送禁止の下ネタを得意とする落語家、ガンダム切り絵で有名になった紙切り師、そしてふたりの師匠。名古屋を拠点とする漫画家兼業落語家が描く、大須演芸場を舞台とした破天荒芸人たちの記録。



©雷門獅篁 ©ぶんか社



「英語できるかな？」

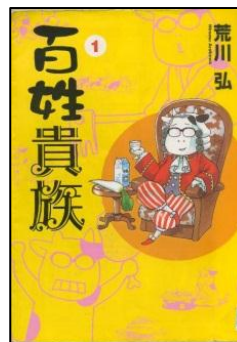
高せえり子／著 文芸春秋

ある日、「世界中の人と話がしたい！英語が話せるようになりたい！」と思った作者。しかし、それまでの人生は英語を避けてきてばかり。一体何からやれば習得できるのだろう？

「キクニの旅ラン」

喜国雅彦／著 小学館

北海道では吹雪の中宗谷岬を目指す、京都では真夜中に丑の刻参りのルートをたどる、宮城では震災被害を受けた鉄道路線を走る、そして神奈川では箱根の山上りで「山の神」に挑戦する…日本全国フルマラソンの旅。



「百姓貴族」 荒川弘／著 新書館

農家の常軌を逸したパワフルな生態とは？野菜泥棒との戦いの日々とは？北海道が独立したら日本の食糧自給率はどうなる？農業高校を舞台にした「銀の匙」で人気の作者が描く農家エッセイマンガ。

2月に最新3巻が出版。

「シブすぎ技術に男泣き！」 現在3巻まで

見ル野栄司／著 中経出版

今の日本を作ったのは政治家でも商社でもマスコミでもない、中小企業の技術者たちだ！

元エンジニアの作者が伝える、いいものを作るためにこだわり続ける、技術者たちの熱い魂。



「マンガ化学式に強くなる」

高松正勝／原作 鈴木みそ／漫画 講談社

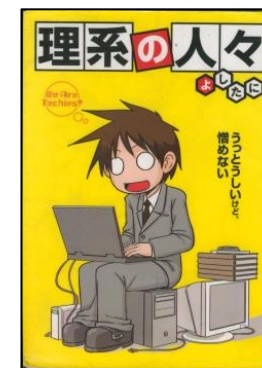
「メートル」は長さ、「グラム」は重さの単位、では「モル」って何だろう？体積にも質量にも使われる、まったくとらえどころのない単位。でもいったん理解してしまうと、これほど便利なものはないのです！

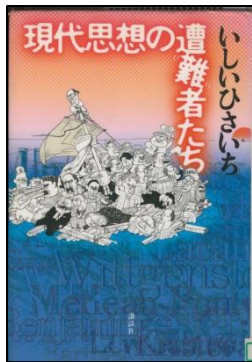
「理系の人々」

よしたに／著 中経出版

自分よりもパソコンの環境を優先する、時間が余るとやたら電気屋に行く、反論が長い、時に非常に大人げない…元 SE 兼業漫画家が描く、理系な出来事、理系の人々の生態。

3月に最新4巻が出版。





「現代思想の遭難者たち」

いしいひさいち／著 講談社

資本論を読み解こうとしたアルチュセールは、なぜか途中から将棋指しのようにになってしまう。ハーバーマスは自分を批判する人間を自分を囲む会に招待する。論破しまくる気満々で…。哲学パロディ四コマ漫画。

「神様は本を読まない」

吉野朔実／著 本の雑誌社

子どもの頃は楽しいだけで漫画を描いていたが、プロになって、そればかりではなくなった。そんな折、ある一冊の絵本を見て「描きたいだけで描いていた」気持ちを見出した。はたしてまた、時間を忘れて描きたいように描くことはあるのだろうか…。「本の雑誌」連載の、本についてのエッセイマンガ。



「私の血はインクでできているのよ」

久世番子／著 講談社

お絵かき大好き少女はいかにしてプロの漫画家となったのか？イラストを描きまくったり、中学の生徒手帳に「梵字」をはさんでいたり、制服に萌えて駅員の同人誌を作ったり…。記憶のフタをこじ開けて綴った（そして自分の黒歴史に身悶えた）かつてのマンガ好きの日々。

ほかにもいろいろあるよ！図書館の棚をさがしてみよう！（マンガコーナー以外にも）

名古屋市図書館 ティーンズ担当者のオススメ 最終回

名古屋市図書館は全部で21館。その全ての図書館にティーンズ担当者がいるって知ってるかい？ごちゃっとメンバーだけがティーンズ担当者ではないのだ！各図書館のティーンズ担当者オススメ紹介も最終回！ぜひ、興味がある本は予約や取り寄せしてみてください☆

『ぶたぶた』 矢崎存美／著
徳間書店 2012

深夜止まった1台のタクシーは、誰も乗っていない幽霊タクシーだった！？と思ったら運転しているのは、バレーボールほどの大きさのピンクのぶたのぬいぐるみ。しゃべりし、名前は”山崎ぶたぶた”だという。「しらふの客」より。バビーシッターやフランス料理の名コック、会う度に違うその正体は妻も子もあるぬいぐるみ。



”ぶたぶた”さんが、何気ない事件を解決していく短篇集の、何だかほかほかといやされます。シリーズでどうぞ！（名東図書館・P）

『和菓子のアン』 坂木司／著
光文社 2010

菓子が泣く、隣知らず、夜舟—これらは、和菓子にまつわる言葉なんです。勉強嫌いの杏子（通称アンちゃん）が、和菓子屋みつ屋でバイトを始めます。和菓子のことをよく知らないアンちゃんは、超個性的なみつ屋のスタッフに教えてもらい、和菓子の知識を身に付けていきます。そこに、謎めいたお客がやってきて、彼らの言動を紐解いていく和菓子ミステリー。食いしん坊には、もってこいの1冊です。（桶図書館・しず）



『わたしはマララ』

教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女
マララ・ユスフザイ／著 学研パブリッシング 2013

パキスタンの少女マララは、下校途中タリバンに銃撃されました。女の子が教育を受けるのは、タリバンの教義に反するからです。奇跡的に一命を取り留め、史上最年少でノーベル平和賞にノミネートされたマララが、その生い立ち、家族、将来への思いを綴ります。女の子というだけで、学校どころか、一人で買い物にも行けない世界があるなんてちょっと衝撃です。（港図書館・鯛）





新・刊・紹・介

『5分後に意外な結末 1 / 赤い悪夢』

学研教育出版

3月は忙しくて長編を読んでも時間も余裕も無い!というあなた。この本オススメです。すごく短いおはなしが収録されていて1つずつあつという間に読めちゃいます。それも、「ええ!!!」とか「んな、バカな…」と思える意外な結末。もし、気に入ったらシリーズ2巻目もどうぞ。(秋)



『名古屋古本屋案内』鈴木創／編著 風媒社
本に出会う場はいくつもある。その中のひとつに古本屋がある。古本屋と一口に言っても、扱うジャンル、品揃え、値段は店によってまったく違い、それがその店の色を作り上げている。それ故に自分の好みにあった古本屋を見つけた時は、その喜びはひとしおである。名古屋を中心に東海三県の古本屋を紹介。(sh)

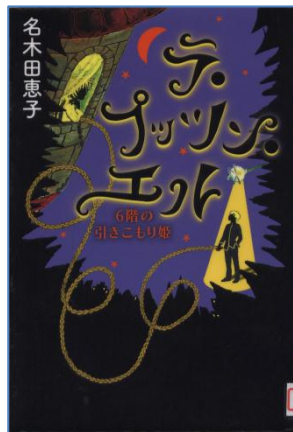
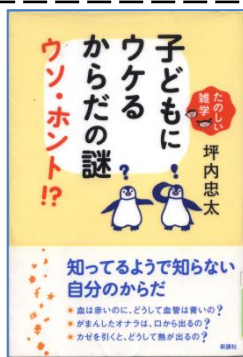
『子どもにウケるからだの謎ウソ・ホント!?!』

坪内忠太／著 新講社

好きな人の前では顔は赤くなる。ウソ・ホント!?!

ってな感じの、カラダに関する質問(208個)とその答えが書かれている本です。答えも短く書かれているから読みやすい。

ちなみに、上の質問の答えはウソかホントかどっちなんでしょう?(む)



『ラ・プッツン・エル 6階の引きこもり姫』

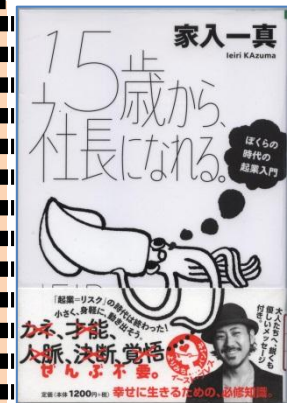
名木田恵子／著 講談社

高倉涼は自分のことを“ラ・プッツン・エル”と呼んでいる。童話の“ラプンツェル”は魔女によって塔の中に閉じ込められたが、涼はマンションの1室に自ら閉じこもっている。魔王(=父親)やその妻(=母親)から離れ、自分自身を知るために。“プッツン姫”を孤独から救い出すのはたして…?(さと)

『15歳から、社長になれる。』

家入一真／著 イースト・プレス

働くということは、学校を卒業してどこかの会社に入るだけではない。自分で会社を作る「起業」という道もあるのだ。起業するまでの詳しい説明や、実際に10代で起業した社長の体験談も掲載。中には中学生で起業した人も!「将来は社長になりたい」という夢は、案外現実的かも!?(千雪)



『知って感じるフィギュアスケート観戦術』

荒川静香著 朝日新聞出版

この号が出るころにはソチ五輪ももう終わっておりますが、名古屋といえば、フィギュアスケート。でも、この競技、どこで勝負がつくかわからない、ということはありませんか?

アクセルとループはどう違うの?どちらも美しいけど、点数は違うのはなぜ?

疑問をお持ちの方、あの荒川静香さんが、わかりやすく解説してくれています。(か)

